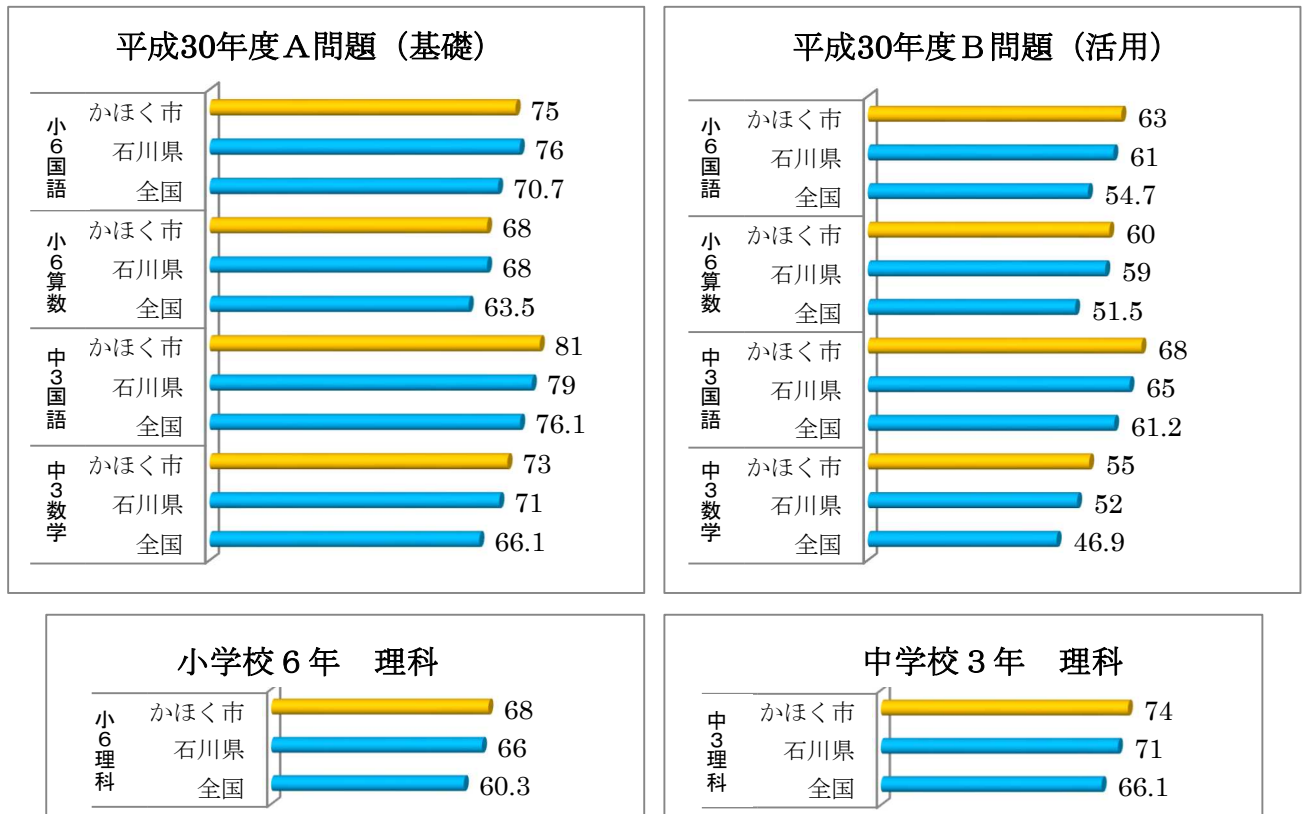


平成30年度全国学力・学習状況調査結果の概要

- ・ 小学校6年生は、全教科で全国平均を上回り、算数Aは県平均並み、国語Aは県平均をわずかに下回る結果となりました。中学校3年生は、全教科において全国平均を上回り、県平均も上回る結果となり良好といえます。（図1）
- ・ 例年課題となっていた「記述力」については、小中共に全ての項目で県平均を上回り、書く機会の保障と適切な評価に基づく取組の成果が見られます。しかし、小学校の国語では「言語についての知識・理解・技能」に課題が見られました。適切に表現するために必要な語句について、調べる活動等を充実させながら理解の定着を図っていくことが大切です。
- ・ 児童生徒質問紙の「計画的に勉強する」については、昨年と比べて「当てはまる」と回答した割合が上がっています。各学校が共通理解を図り、家庭学習に対して全校で取り組んできたことの成果といえます。「いじめは、どんな理由があってもいけない」については、今年も高い割合を示していますが、今後も継続して児童生徒が安心して過ごせるような土台作りに努め、100%を目指していく必要があります。（図2）
- ・ 「将来の夢や目標を持っている」割合は、中学校で県平均を上回りましたが、小学校ではここ数年県平均を下回り、その差も広がりつつあります。小学校におけるキャリア教育の充実を図り、夢や目標に向かって努力する態度の育成に努めていく必要があります。（図2）
- ・ 学校質問紙から、コミュニティ・スクールの仕組みを生かし、保護者や地域の人と協働して活動することで教育水準の向上に効果があると感じている学校の割合が小学校では83.3%、中学校では100%と、県平均を大きく上回っていました。

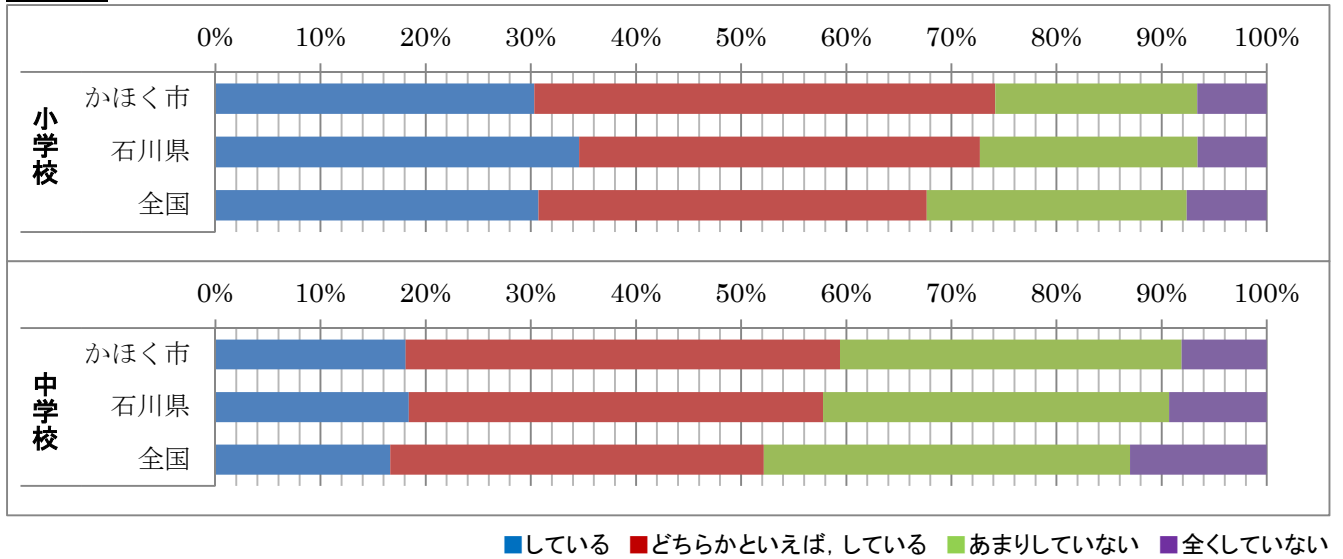
図1 平成30年度の全国学力・学習状況調査平均正答率（%）



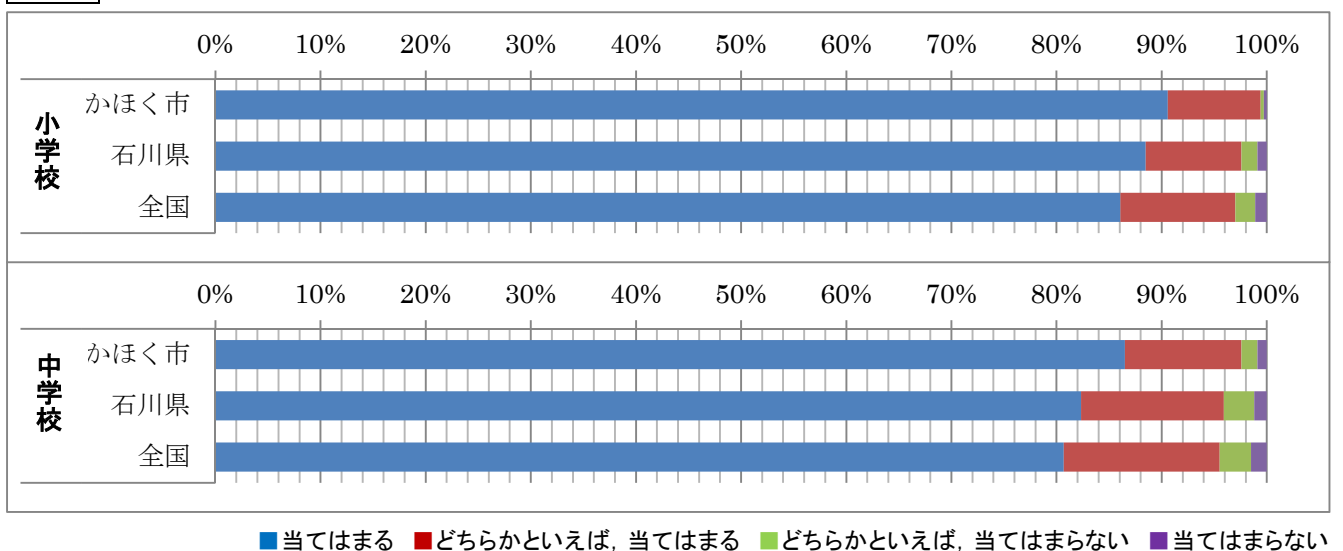
（かほく市学校教育課作成資料）

図2 平成30年度 全国学力・学習状況調査 質問紙結果 (抜粋)

質問1 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか (平成30年度目標値75%)



質問2 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか (平成30年度目標値100%)



質問3 将来の夢や目標を持っていますか (平成30年度目標値 小95% 中80%)

